SSUHU 北陸大学教職員組合ニュース
北陸大学教職員組合
第 322 号
2021.6.24 発行

今年度夏季賞与 1.6 ヵ月・6 月 25 日支給

2021 年 6 月 8 日、本年度第 1 回団体交渉が開催された。主たる交渉内容は今年度の賞与である。まず、法人側から学生数の推移や事業活動収支予算書などの提示があった。内容の重要ポイントを述べると、2021 年 5 月 1 日現在において、編入学を除く入学者数は 500 人（昨年同月日に比べ約 70 人減）、学生数は 2436 人（約 130 人減）、定員充足率は 77.7%（3.0 ポイント減）、編入学生の入国がまだ不可能などである。また、事業活動収支予算書では、教育収支活動差額が 7.98 億円マイナス、経常収支差額が 7.28 億円マイナスで、当初見立てていた予算をさらに見直す必要もあるほど厳しい状況であるとのことである。これは全国的な新型コロナウイルスの拡大の影響、薬学部において留年退学率が多いこと、国家試験合格率が低いことが学生募集に影響を与えていると考えられる。この状況では昨年と同様の賞与支給率は困難であるとした上で、今年の賞与に関する提案は、「年間を通して昨年より 0.1～0.2 ヵ月減」という提案であった。

減額理由のうち、組合は財政状況については理解しているので、それについては受け入れるものの、留年率増大を理由にすることについては、到底容認できない旨を主張した。すなわち、留年率増大は薬学部 1、2 年次生における留年が例年より著しく多かったためと思われるが、その要因のほとんどは、一般教職員の努力では改善不可能な**「事情」**によるものであることを指摘、力説した。

加えて、今年度からは過去に行われていた手法を用いた基礎学力向上プログラムを復活させ、自発的に留年防止に取り組んでいること、特に 1 年次の講義内容を必死になって改善し、多くの教員が協力していることを説明した。また、その他の点でも教員は手を抜いている訳ではないから、その努力を削ぐ形となる賞与の減額は受け入れられないことも伝えた。さらに、コロナ対応で教員に給付金を提供している大学もあるという情報を日本私立大学教職員組合連合から得ているので、本学もそう対応したとすれば 0.1 ヵ月減を相殺する形になるといった案も伝えた。しかしながら、過去に例がないほどまでに経営現状が厳しく定員充足率が低いなら、昨年度に比べて 0.1 ヵ月の減賞与支給率を受け入れざるを得えないという意見も述べた。その場合、減額するなら夏季にして欲しい旨も伝えた。このような経過で 6 月 8 日の団交は終了し、法人側からの回答は次の三役交渉（予定）に持ち越された。

6 月 11 日、泉理事、南野理事、川堰人事課長の三氏が荒川執行委員長の元を訪れ、懇談が行われた。そこでは、泉理事から小倉理事長・学長の意向が伝えられた。「夏季賞与は昨年と同等の支給をしたいと思います。また、冬季賞与については、教員の皆さんの努力が結果として現れるか否かで減額するかどうかを判断します」とのことであった。

無論、科目の合格基準を安易に下げての単位修得者数増大は「教育の質保証」を担保できないのでしてはならない、ということが労使間で合意済みなので、学生を真に合目的的に成長させなければならないのが本学教員の使命である。また、楽勝科目をつくることは

法人も望んではいないのである。これについては教職員全員に意識していただきたいことである。

南野理事によれば、留年は薬学部に限ったことではなく、これを一人でも減らすべく、全学部的に学力向上に取り組んで欲しいとのことであった。結果として、労使の見解が一致したので、三役交渉を行う必要がなくなった。

このような経緯の下、6 月 16 日付で確認書に押印するに至った。

ここ 5 年間の賞与の推移は次のとおりである。

	夏季	冬季	合計
2017 年度	1.5 ヵ月	1.7 ヵ月＋人事考課 0～20 万円	3.2 ヵ月＋人事考課 0～20 万円
2018 年度	1.5 ヵ月	1.7 ヵ月＋一律 10 万円	3.2 ヵ月＋一律 10 万円
2019 年度	1.6 ヵ月	1.8 ヵ月＋一律 10 万円	3.4 ヵ月＋一律 10 万円
2020 年度	1.6 ヵ月	1.8 ヵ月＋一律 10 万円	3.4 ヵ月＋一律 10 万円
2021 年度	1.6 ヵ月	○ヵ月＋一律○万円	○ヵ月＋一律○万円

新型コロナウイルスワクチン接種時期とその後の休暇について

新型コロナウイルス感染者については、2020 年 7 月から 9 月には第 2 波が観察された。加えて、11 月から翌年 2 月にかけて第 2 波を大きく上回る感染者が全国的に認められ、さらには感染力が強い変異株の出現も発表された。現在、高齢者や医療従事者を優先にワクチンの接種が開始されているが、我々教員や学生の接種は未定である。

接種後、かなり大きな割合で高熱や倦怠感などの副反応が見られている。その程度には個人差があるようだが、数日続くようである。そこで、組合から、教員の接種後、有給休暇以外の休暇を設けてほしいことと講義などもあるから接種時期についても考えてほしいことを要望した。法人側もこの要望については理解されているようで、検討していく予定であるとの回答であった。

2020 年度組合総会について

組合総会は、毎年 3 月に組合結成の聖地である KKR ホテル金沢で開催されている。総会に引き続き懇親会も通常行われる。組合は、2021 年末を以って定年を迎えられたルート・ライヒェルト先生、定成秀貴先生、荒川由紀美先生および一昨年定年退職された松原京子先生の送別会を計画していた。残念ながら、金沢市でも 2021 年 2 月下旬から感染者が確認され始めた時期でもあったため、組合員の安全を第一に考え、やむを得ず今年も昨年に引き続き開催を延期することとした。2021 年度の執行委員の信任決議については、2020 年度総会で行われる予定だったが、暫定的に次のように選出している。

2021 年度執行委員

執行委員長	荒川　靖	副執行委員長	東　康彦
書記長	髙橋達雄	会計	木藤聡一
会計監査	田端淑矩		

2019 年度組合総会は開催できなかったので、以下に 2019 年度の会計資料を添付することとした。2020 年度の会計資料添付については、時期を見計らって 2020 年度組合総会を開催したときに示すこととし、その場で会員の皆様から承認を得たいと考えている。

２０１９年度北陸大学教職員組合決算報告書

(2019.2.25～2020.2.24)

収支計算書

Ⅰ　収入の部	予算	決算
前年度より繰越	9,313,425 円	9,313,425 円
組合費	300,000 円	725,000 円
寄付	- 円	3,000 円
金利	- 円	26 円
行事収入	30,000 円	52,000 円
雑収入	- 円	432 円
合計	9,643,425 円	10,093,883 円

Ⅱ　支出の部	予算	決算	
事務用品費	25,000 円	220	円
郵便・通信費	25,000 円	6,809	円
コピー・印刷費	25,000 円	440	円
資料収集費	25,000 円	15,390	円
上部団体納入費	300,000 円	211,750	円
旅費等出張費	50,000 円	64,700	円
会議費	25,000 円	0	円
弁護士費用	100,000 円	0	円
振込費等会計処理費	10,000 円	3,672	円
慶弔費	100,000 円	50,000	円
行事費	200,000 円	167,320	円
予備費	150,000 円	0	円
合計	1,035,000 円	520,301	円

収支残高	9,573,582 円

貸借対照表

Ⅰ　資産の部	
預金残高	9,342,437 円
(内訳)	
北陸銀行	155,068 円
郵貯銀行総合口座	35,735 円
通常貯蓄貯金	5,437,834 円
金沢信用金庫	- 円
郵便振替口座	3,713,800 円
現金残高	231,145 円
合計	9,573,582 円

Ⅱ　負債の部	
借入金	- 円
合計	- 円

以上のように決算報告をいたします。
2020年　3月 18日
会計
松原京子　印

以上の決算は正確であることを証明します。

2020年　3月 18日
会計監査
田端淑矩　印

組合へご意見をお寄せください！新入会員も募集中！

組合は、本学の健全化と発展に向け、法人側に意見を公式に伝え、やりがいのある職場環境をつくることをスローガンとしています。意見交換は、法人側にとっても教員側にとっても大きなメリットになります。また、種々ハラスメントの相談も含め、困ったことがあればいつでも相談できるのも組合加入のメリットです。私大教連（上部団体）にも相談が可能ですので心強いです。いざというときのセーフティーネットとなるのが組合です。

意見を言わず黙っていても、納得のいかない指示に我慢していても、職場環境は全くよくなりません。教職員の皆様の貴重なご意見こそ、北陸大学の発展に必要です。新規採用の先生方のみならず本学教職員の新入会員も随時募集しております。組合が持つ団体交渉権を活用し、法人側と“対等な立場”で意見を伝えてみませんか。団体交渉の場で、法人側の考えや経営方針などを直に聞くことができるので、非常に意義があると思います。

お問い合わせ先
荒川・東・高橋達雄・木藤

北陸大学教職員組合ホームページ　http://www.hussu.jpn.org